

## 4 市民サポートスタッフ

【主 旨】平成18年度より美術館運営の安定的・効率的な推進を図るための、ボランティアとしての市民サポートスタッフの育成を目的としている。参加者は養成講座などを受講し、展示解説や叢書図録の制作補助など各自の興味のある分野で活躍している。

【活動内容】 鎌倉清方記念美術館における展示解説や教育普及事業補助、及び調査研究や集客促進等の美術館事業を補助する。

## 5 館外活動

### 出張講演会

---

#### 「美人画の系譜 鎌倉清方から伊東深水」

(平成15年度江東区森下文化センター 後期講座「美術鑑賞講座 日本画・その多様な世界」)

【講 師】 当館学芸員 宮崎徹

【日 時】 平成16年2月27日14～16時 (120分)

【出張先】 江東区森下文化センター

【要 旨】 清方の子供時代から、水野年方に弟子入りし挿絵画家として活躍する時代、そして日本画家として大成するまでを解説。伊東深水を含め、弟子入り志願者が増えた大正期。清方の肖像画と、深水の肖像画について。

#### 横浜そごう美術館「かながわの絵展」ギャラリートーク「神奈川の個人美術館」

【講 師】 川崎市岡本太郎美術館 片岡香  
鎌倉市鎌倉清方記念美術館 宮崎徹  
真鶴町立中川一政美術館 新井人志  
山口蓬春記念館 岡田修子

【日 時】 平成16年5月29日16～17時 (60分)

【出張先】 横浜そごう美術館

【要 旨】 展示室において、おのおのの美術館の「画家と神奈川のゆかり」や出品作品についての解説に加え、美術館の紹介を行った。

【番 組】 FM横浜5月28日13：30放送

### 雑誌への寄稿

---

宮崎徹「東京人から鎌倉人へー清方を偲んでー」

『鎌倉』第99号 平成16年12月1日 鎌倉文化研究所

宮崎徹「『苦楽』と鎌倉清方」

『鎌倉』第102号 平成18年12月1日 鎌倉文化研究所

## メディアに対する資料提供

---

### 平成14年度

- ◇テレビ東京「たけしの誰でもピカソ #218」平成14年1月11日21時
  - ・「にごりえ」写真資料提供
- ◇TVKテレビ「神奈川再発見 鎌倉ミュージアム オブ モダンアート」平成14年1月27日
- ◇鎌倉ケーブルテレビ「7 d a y s 鎌倉&逗子」平成14年7月27日
- ◇NHK「芸能花舞台 名作文学シリーズ#樋口一葉の世界」平成14年8月31日13時
  - ・鏑木清方「にごりえ」の挿絵写真資料提供

### 平成15年度

- ◇鎌倉ケーブルテレビ「鎌倉市からのお知らせ」平成15年
  - ・鏑木清方記念美術館『失われた名画霽れゆく村雨(下絵)』展開催のお知らせ
- ◇テレビ東京「美の巨人たち シリーズ日本の美術館に『女』を見に行く」平成15年6月28日22時
  - ・鏑木清方記念美術館 『一葉女史の墓』
- ◇Y C V国際放送「気ままに漫遊 神奈川一万歩！自分の時間を見つける・・・鎌倉への旅」  
平成15年7月1日
- ◇鎌倉ケーブルテレビ「鎌倉市からのお知らせ」平成16年1月17日～1月23日
  - ・鏑木清方記念美術館企画展『新春の風情』

### 平成16年度

- ◇FM横浜「そごう美術館 5月29日16時 ギャラリートーク」平成16年6月15日放送
  - ・『かながわの絵』に出品した作品と鏑木清方記念美術館についての解説
- ◇鎌倉ケーブルテレビ「鎌倉市からのお知らせ」平成16年6月26日～7月2日
  - ・鏑木清方記念美術館『清方八景 第二景 自由画を志しての巻』
- ◇NHK「新日曜美術館 アートシーン」平成16年6月27日9時45分
  - ・『清方八景 第二景』展覧会情報
- ◇鎌倉ケーブルテレビ「鎌倉市からのお知らせ」平成17年1月22日～28日(1月18日取材)
  - ・『鏑木清方記念美術館 特別展 清方八景 新春の巻』展のお知らせ

### 平成17年度

- ◇テレビ東京「第578回 開運！なんでも鑑定団」平成17年8月16日
  - ・「曲亭馬琴」「朝涼」「襟おしろい」「一葉女史の墓」の写真資料提供
- ◇NHK「新日曜美術館 夢幻の美『鏡花本』の世界～泉鏡花と三人の画家～」平成18年1月22日

## 平成18年度

◇NHK「迷宮美術館夏スペシャル ぐるっと日本 名画の旅～アートがあなたの人生を変える」  
平成18年6月12日

◇テレビ東京「第629回 開運！なんでも鑑定団」平成18年8月15日

・「秋のおとずれ」「盆提灯」の写真資料提供

◇鎌倉ケーブルテレビ「鎌倉市からのお知らせ」平成19年1月

・鏑木清方記念美術館『新春の風景』紹介

## 6 映像コーナー

当館では、映像コーナーにおいて、ハイビジョン画像による当館オリジナルの美術番組を放映し、展示スペースが少ないことと清方に関する理解を補っている。絵画検索システムにおいては、タッチパネルで収蔵作品・資料の閲覧ができる。

なお、開館時はアナログ方式であったが、平成19年3月にデジタル方式とした。

### 【ハイビジョン映像システム】

◇[鏑木清方の生涯] 上演時間12分44秒

往年鎌倉にて活動するまでを当館収蔵の作品を交えて紹介する。

◇[鏑木清方記念美術館収蔵作品の紹介] 上演時間10分24秒

「美人画」「庶民生活を描いた作品」「肖像画」「文学を描いた作品」に分類、そのうち主な収蔵作品に解説を加え紹介する。

### 【ハイビジョン絵画検索システム】

◇『作品分類別検索』（「本画」「素描」「挿絵」「下絵」に分類）

◇『五十音別検索』『年代別検索』（「明治期」「大正期」「昭和戦前期」「昭和戦後期」に分類）

## 7 図書コーナー

### 【設置主旨】

鏑木清方や美術館、芸術等に親しむことはもとより、教育普及の観点から来館者の利用向上を図るために平成18年12月に設置した。

### 【利用状況】

平成18年度 339人(平成18年12月8日～平成19年3月31日)

### 3 収集・保存

#### 1 収蔵作品数

開館にあたり、平成6年から5回にわたりご遺族から鎌倉市に寄贈された作品数は8,631点、その後の収集作品を含む内訳は以下の通りである。

寄 贈	登録部門							
	作 品	下 絵	挿 絵	スケッチ	遺愛品	書籍類	その他資料	計
開館時	87	192	1,472	284	293	5,615	688	8,631
追加収集 平成10～18年度	5	1	2				4	12
計	92	193	1,474	284	293	5,615	692	8,643

収蔵品総計	8,643点
-------	--------

#### ◇代表的な館蔵作品◇

作品名	制作年	出品歴
寒月	明治30年(1897)	紫紅会
一葉女史の墓	明治35年(1902)	烏合会第5回展
孤児院	明治35年(1902)	日本絵画協会第13回展共進会展
秋宵	明治36年(1903)	日本絵画協会第15回展共進会展
嫁ぐ人	明治40年(1907)	東京勸業博覧会
曲亭馬琴	明治40年(1907)	
早春	大正7年(1918)	金鈴社第3回展
ためさるゝ日(右幅)	大正7年(1918)	
水汲	大正10年(1921)	
金沢絵日記	大正12年(1923)	
襟おしろい	大正13年(1924)	清方作品展「美人二十題」
朝涼	大正14年(1925)	第6回帝国美術院展
注文帖	昭和2年(1927)	郷土会第12回展
慶喜恭順	昭和11年(1936)	第1回改組帝国美術院展
朝夕安居	昭和23年(1948)	第4回日本美術展覧展
先師の面影	昭和24年(1949)	第5回日本美術展

\* 収蔵作品の詳細に関しては、『鎌木清方記念美術館 収蔵品図録』シリーズに掲載してあります。